

令和6年度第2回佐渡市地域クラブ活動推進協議会 会議録(2025年2月17日)

(渡邊学校教育課課長)

それでは、これから始めさせていただきたいと思います。令和6年度第2回佐渡市地域クラブ活動推進協議会を開催いたします。お忙しい中、大変ありがとうございます。

次第の報告事項まで、学校教育課の渡邊が務めさせていただきます。

まずはお手元に資料を配布させていただいております。

1枚目が次第ということになります。その下から資料がございます。資料1から資料6まで配布しておりますので、ご確認いただけましたら、その都度お申し付けいただければと思います。

よろしくお願いいたします。また、今回の会議については、会議録作成のために記録・録音をさせていただきますので、重ねてよろしくお願いいたします。

それでは、早速、次第に沿って進めてまいります。

まずは、佐渡市地域クラブ活動推進協議会の伊藤会長から、一言ご挨拶をお願いいたします。

(伊藤会長)

本日は、お忙しい中お集まりいただき、ありがとうございます。

昨日、令和6年度の一般財団法人佐渡市スポーツ協会の表彰式を行いました。100名を超える方々が表彰されたところです。

中学生では、全日本中学生バドミントン選手権大会の新潟県代表として出場された菊田さん、全国ジュニアオリンピック、全国空手道選手権大会に出場された熊谷さん、高校生では43回全国都道府県対抗女子駅伝の新潟県として、中学生の中で3名が選ばれた中川さんなど、大変優秀な方々を表彰することができました。

今後、この活動を支えるために地域クラブ活動が存在していますので、ぜひ皆様から忌憚のないご意見をいただき、良い方向に進めていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

(渡邊学校教育課課長)

それでは、続きまして、教育長から一言お願いいたします。

(香遠教育長)

委員の皆様、本日もありがとうございます。佐渡市では、国の方針に基づき、市の地域クラブ活動を段階的に進めているところです。

佐渡らしさを模索しながら、この2年間進めてきておりまして、おおむね計画通り進んでおり、全国からも注目を浴びている状況です。

本日の協議会では、まず今年度の事業報告をさせていただき、その上で新年度、令和7年度は改革推進期間の最終年度となりますので、これまでの2年間の実績を踏まえてさらに改善したいと考えています。本日は新たな提案をさせていただきます。

委員の皆様から忌憚のないご意見を賜りたいと存じます。

伊藤会長から昨日の佐渡市スポーツ協会の表彰式のお話がありましたが、多くの子どもたちが表彰され活躍していることを改めて嬉しく思いました。

終わってから、ある委員が「ほとんど佐渡の中心地の子供たちだな」と言っていました。周辺の学校の子どもが少ないなど。周辺の子どもたちの数はそもそも少ないかもしれませんが、もしその方が言うように、中心部の子どもたちに比べて周辺部の子どもたちがスポーツに参加する機会が少ないというのが客観的に本当にそうであれば、それは問題なのかもしれないと思います。

その点において、この地域クラブ活動は、急激な少子化が進む中で、生徒が継続的に生涯にわたってスポーツや文化芸術活動に親しむ機会を確保・充実していくことを目的としています。

また、佐渡の良さや魅力の再発見、まちづくりと地域社会の維持、活性化についても期待しています。

その観点からも、皆様から忌憚のないご意見を賜りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

(渡邊学校教育課課長)

では、次第に沿って伊藤会長から進行をお願いしたいと思います。

2番の報告事項の方からよろしくお願いいたします。

(伊藤会長)

はい。それでは、私の方で進めさせていただきます。

着席のまま進めさせていただきます。では、最初に会議の開催についてですが、委員の過半数をもって成立となっております。本日は全員参加となっておりますので、ここに会議の開催を宣言いたします。

続きまして、傍聴についてですが、議事進行に支障がある場合については退出していただくことがございますので、詳しくは傍聴希望される皆様へをご覧くださいと思います。

それでは、次第に沿って進行させていただきます。

2番、報告事項(1)地域クラブ活動アンケート調査結果取りまとめについて、事務局から報告をお願いいたします。

(源田学校教育課指導主事)

学校教育課指導主事の源田からご報告をさせていただきます。

資料1をご覧ください。こちらは佐渡市内の全中学校1年生から3年生、さらには特別支援学校1年生から3年生を対象とした調査です。実施日は、こちらの期間で配布した総数162人中、回答は90名の中学生からいただきました。

1ページ目の座標ですが、1つ目の設問、令和6年の佐渡市地域クラブ活動への参加状況について教えてくださいということで、参加状況は298人、33%、不参加は602人、67%でした。

また、各項目の下には参考として令和5年度の数字も掲載していますので、そちらも合わせ

をご覧ください。

この参加状況の続きですが、2 ページ目には地域クラブ活動に参加しなかった理由があります。「特ない」というのが最も多いですが、その他には「休日は活動したくない」「やりたい種目なかった」「その活動があることを知らなかった」等々の回答があります。

また、その下に記載されている内容として、金銭的な事情や興味関心、時間的な都合、交通や距離の問題から参加できないと答えた中学生もいました。

3 ページ目には、今年実際に参加した種目についての調査結果がありますのでご覧ください。

4 ページ目には、地域クラブ活動に参加して良かったと感じた理由が多く、「スキルアップにつなげることができた」、「自分の好きなことや興味を見つけるきっかけになった」、「他の学校の生徒と交流ができた」といった良かった点が挙げられました。

一方で、5 ページ目では参加して良くなかったと感じた点について、最も多かったのは「特ない」で 219 人、69%でしたが、少数意見では「顧問の先生と地域の指導者が違うため戸惑った」という 13 人（4%）など、気になる意見がありました。

次のページ 6 ページ目では、地域クラブ活動がどのようになったら良いかという声に対し、「友達や地域の方などいろんな人と一緒に楽しむことができる活動」、「一つの種目を追求してスキルアップすることができる活動」、「様々な種目(スポーツ・文化芸術)を体験できる活動」ができると参加したいと思う生徒が多いようです。

続いて 7 ページ目です。実施回数についての質問ですが、1 番多かったのはオレンジの部分で、月 2 回の週末に実施したいという意見が最も多く、次いで毎週実施したい人や月 3 回の週末、月 1 回の週末が良いという人もいました。希望はかなり分散しています。

次のページ、8 ページ目では今後希望する参加種目についてお尋ねしました。複数回答の形式で、最大 3 つまで選択肢を選んでもらいましたが、結果はこのようになっています。今年度すでに実施している種目がほとんどであり、少数の種目については概ねカバーできていると思われます。一方で、文化種目については、次のページ、9 ページです。今年度実施しなかった種目の中で、例えば e スポーツや料理、釣りなどは実施していませんでした。しかし、かなりの数の生徒がこれらを希望しています。参加数は少ないですが、中盤に鬼太鼓は 31 名、また、能楽が 6 名と、今年度参加した数はとても少なかったものの、複数回答の形で希望する生徒もいます。

実際に鬼太鼓や能楽を選んだ生徒は、他の種目も併せて選んでおり、また、スポーツの方でも選択している人たちがいます。鬼太鼓や能楽を選んだ生徒も同様です。

最後に、10 ページ目は要望を記入してくださいということでしたが、たくさんのご意見があり、全てについてはここでは読み上げませんが、スケジュール、場所、お金、活動内容、参加方法に関する要望が出てきております。 以上です。

(伊藤会長)

ただ今、報告がありました。皆様から何か質問やご意見がありますでしょうか。

ちなみに、これは何月何日の集計でしょう。スキーが4名になっていたの、1月中旬くらいですかね。

(源田学校教育課指導主事)

アンケートを実施した時期は12月1日から12月20日です。今年度参加したもの、もしくは今年度参加する予定のものを含めた形での質問になっているので、実際には3月までのものを含んでいるかと思います。

(伊藤会長)

他にありませんでしょうか。

(本田委員)

7ページ R6 実施回数はどれくらいがいいですかの問いは、エンジョイ型とスキップ型の両方合わせた問であったのでしょうか。

(源田学校教育課指導主事)

そうですね、こちらでは分けて集約はせずに、どちらも合わせたものとなっています。

(本田委員)

スキップ型は年間をとおして月2回の実施、エンジョイ型については、月2回程度の実施だと、分けずに合わせた数の集計となると、把握が分かりにくいのでは。

(源田学校教育課指導主事)

スキップ型もエンジョイ型も今年度は2回で、来年度は3回とさらに増えていく想定の中で、今回集計をまとめて集計を行いましたので、今後は分けて集約できるよう検討し、皆様にお示ししたいと思います。

(伊藤会長)

その他、何かございますでしょうか。よろしいでしょうか。

もし何かありましたら、後ほどでもお知らせください。

それでは続きまして、(2)中学校入学説明会における「地域クラブ活動」について説明をお願いします。

(源田学校教育課指導主事)

では、資料2をご覧ください。そちらには佐渡市地域クラブ説明会の日程や時間について各

学校にお知らせした資料になります。

市内の中学校および特別支援学校、中等教育学校の入学説明会の時と合わせて地域クラブ活動について説明を行いました。

3枚目以降に地域クラブ活動についての説明会資料がございますので、こちらをご覧ください。

スライド資料の4枚目に地域クラブ活動の目的について説明し、5枚目、6枚目で学校の部活動との違いについてご説明します。

7枚目にはスキップ型の種目についての写真を交えた説明があり、8、9、10、11、12ページで、エンジョイ型の年間種目の参加形態について説明を図示しています。

次に、13ページ目の資料には、指導者についての説明、14ページ目では5、6年生対象の佐渡市地域クラブの体験会の活動紹介をしております。

資料 2 に戻りますが、その裏面には令和7年度の佐渡市地域クラブ活動実施予定日がございます。

これは昨年の12月に各学校にお伝えした来年度のクラブ活動の日程ですので、こちらも合わせてご覧ください。

以上、説明会についての報告でした。

(伊藤会長)

はい、今の説明会の日程と資料についての報告がございました。何か質問やご意見があればお願いします。

(池田委員)

今ご説明のあった 2 の裏面についてですが、表の上に「中学校体育連盟連絡協議会と調整済みであることを申し添えます」と書かれています。調整していただきありがとうございました。

5月の会議の際に、文科系の吹奏楽のことについて、吹奏楽連盟の事務局をしている山本先生と日程を決める際に連絡を取っていただきたいとお話しましたが、この点については連絡調整されているのでしょうか。

(濱崎学校教育課課長補佐)

はい、すみません。基本的には大会等が関係してくるところもありまして、中体連の方と事前に協議させていただいて日程を決めたところがございます。そのため、吹奏楽等の文化関係は調整を行っておりませんでした。

(池田委員)

コンクールなど、さまざまなイベントがあるのでなかなか難しいですが、確認させていただきました。

(伊藤会長)

それでは、報告事項の(3)令和6年度佐渡市地域クラブ活動実績報告についての報告をお願いいたします。

(高橋社会教育課社会体育係長)

高橋です。よろしくお願いいたします。

資料3番をご覧くださいと思います。今年度の活動実績報告になります。

今年度は、5月以降に月2回、原則として第1・第3日曜日とその前日の土曜日に実施しており、計21回行いました。

個々のスキルアップや経験を積むため、これまでの部活動種目を中心に「スキップ型」ではスポーツ種目6種目、文化1種目の計7種目を実施し、今年度の登録人数は245名となりました。

「エンジョイ型」では、スポーツ種目15種目、文化種目19種目、計34種目を計画し、延べ264名が参加しており、生徒数では31名です。今年度のスキップ型、エンジョイ型、スポーツ、文化合わせた指導者の登録数は118名となり、協力をいただいております。

下段の方、参加者の反応ですが、生徒からは「普段しないことが新しい経験で楽しかったです」との声があり、マリンスポーツでは「普段体験する機会がないヨットやダブルスカルなどができて貴重でした」という意見が寄せられています。

4ページ目をご覧くださいれば、保護者の反応も示しております。ギターを通じて初対面の人と仲良くなることができたとの声や、マリンスポーツでの生徒同士の交流はとても良かったとの意見もありました。

指導者からも、将棋を通じて楽しさを知ってもらいたいといった思いの声が寄せられています。

6ページ目にはスキップ型の各種目の会場別参加実績が掲載されております。

令和5年度では191名の参加がありました。今年度は4月末の年度当初で188名の申し込みがあり、現在245名の申し込みということで昨年度と比較して54名の参加者が増えている状況です。

エンジョイ型についても、今年度は延べ264名の参加があり、生徒数で見ると31名ということで生徒数13名の増加が見られます。この形態での参加が拡大していますが、残念ながら鬼太鼓や能楽のような少数の種目に関しては参加者がいない状況です。

以上、実績についての報告でした。

(伊藤会長)

ありがとうございました。今のご説明に関する質問やご意見がございますでしょうか。各事業に関してご意見をお伺いします。

(金子委員)

スキップ型についてお聞きしたいと思います。

前年度の指導者 116 名の中で、指導にあっている教職員が 9 名で、そのうち中等教育学校の方が 2 名ということで、私はメモをしておりますが、その内教職員は何名になりましたか。

今年度は 118 名に増加し、指導者も増えていますよね。

(高橋社会教育課社会体育係長)

はい。今年度、教員として関わった方の人数は 11 名で、昨年度から 2 名増えた形です。また、指導者の登録は 116 名から 118 名へと 2 名増加しておりますが、昨年度は初年度であったため、登録している指導者が実際の指導には携わっていなかった方も多いです。今年度は実際に全種目で指導に関わった人数が増えているため、若干の増加が見られます。

(伊藤会長)

その他、何かご質問ありますか。

(香遠教育長)

一言お願いします。

2 ページ目にある保護者の感想の中で「佐渡ならではの能楽や太鼓、ダイビングなどがあつたらいいな」との意見が見受けられました。これは、自然や伝統に対する興味が高まっているのだなと感じました。

(伊藤会長)

皆様から何か感想等がありますか。よろしいでしょうか。

それでは続きまして、佐渡市地域クラブ活動体験会についての報告をお願いいたします。

(高橋社会教育課社会体育係長)

資料 4 をご覧いただきたいと思います。2 月 9 日の日曜日に、午前中 9 時から 12 時まで佐渡市地域クラブ活動の体験会を開催しました。

参加対象は小学 5、6 年生で、スポーツ種目では野球、サッカー、バドミントン、空手、体操の 5 種目、文化活動ではイラスト、競技カルタ、民謡の 3 種目を募集し実施しました。

残念ながら、民謡には申し込みがありませんでしたが、他の 7 つの種目で実施されました。

参加した児童は 34 名で、平均して各自が約 1.8 個の種目を体験しました。

参加した子供たちからは「普段やったことのない種目が体験できて楽しかった」といった意見が寄せられおり、保護者からは「体験会があったことで、ジュニアクラブへの入会にスムーズに繋がるとと思います」との声もありました。

今後も、様々な種目の体験会を実施していきたいと考えております。

以上が体験会の報告です。

(伊藤会長)

ありがとうございます。報告事項4について質問などはございますか。この体験会では、スポーツ国際交流員のキャメロンさんとサトリオさんがそれぞれ野球やバドミントンの指導に関わっていただきました。

(伊藤会長)

何か質問がございますか。よろしいでしょうか。

それでは、報告事項は以上で終了させていただきます。

議題に移ります。(1)佐渡市地域クラブ活動推進計画の改正(案)について、事務局説明をお願いいたします。

(坂井社会教育課教育指導主事)

社会教育課の教育指導主事の坂井と申します。よろしく申し上げます。

資料5をご覧ください。推進計画については、令和5年度に策定されましたが、実施してみても改正が必要と感じる点が3点ありますので提案いたします。

1点目は、推進計画の13ページ、第4章の佐渡市地域クラブ活動推進プランに関して、特に対象者を中学1、年から3生に限定しているため、体験会を経て、小学校5、6年生もエンジョイ型で参加可能だと感じました。新たに対象に加えることで、より多くの異年齢交流が生まれると考えています。

2点目は、参加者の負担に関して、今年度までは具体的に1,000円としましたが、年度ごとに変更されるため、具体的な金額表示を省くことを提案いたします。

3点目は、会場に関する記載について、現実的には学校施設のみではなく、民間の施設も活用していますので、社会教育施設やその他の施設等も利用できるように表記を変更したいと考えております。以上の3点について、皆様のご意見を伺います。

(伊藤会長)

はい、ありがとうございました。先ほどの改正案について、皆様からご意見や質問がありませんでしょうか。

(岩崎委員)

まず、参加対象者の拡大については賛成いたします。中学生との交流がしやすくなることで、その後のスムーズな関係構築が期待されます。ただ、今後小学校への伝達の方法についてはどうするのか知りたいと思っています。

2つ目は、運営について自主性が求められる場合に、一定の負担は必要だと思っておりますので、今後の実施計画についてもこの点を考慮すべきだと思います。

さらに、施設等についての見直しも課題かと思われまますので、その点も意識していただきたいと思っています。

(坂井社会教育課教育指導主事)

小学校への周知については、まだ承認されておりませんので、推進協議会で承認いただければ、校長会等でご説明しチラシの配布等の周知を行えればと想定しています。

(伊藤会長)

私の方からお聞きしますが、他市との交流というところを今後拡大していくとなると、移動のことを考えると会場の設定等の見直しも必要になると思うので、どのあたりに力を入れるのか、もし方向性がわかれば教えてもらいたい。

(坂井社会教育課教育指導主事)

先ほどお話ししましたが、新潟市の方に昨年協力を依頼して、夏休みですが募集かけました。残念ながら1人も参加者いませんでしたので、それほど期待はできないので、期待して広めていくというわけではなくて、佐渡市ではこういう活動していますよというようなことを広める意味でも、チラシの配布等インターネット上で知らせるわけですが、ホームページに掲載とか、そういうような活動ぐらいで、実際に紙ベースで配るとか、そこから広げていくとか、まだそこまでは考えておりません。

(伊藤会長)

他に何かいかがでしょうか。

事務局の方から何かお話などありますでしょうか。

(岩崎委員)

先ほど、小学生の参加について私は大賛成だという風に発表させて、種目によっては、中学生で使うボールと小学生で使うボールと、大きさが違うとか、そういった道具の面でまた負担がかかるのかなとも思っています。

心配なところもありますので、そのスキップ型、エンジョイ型、エンジョイ型についてはほぼ一緒にやれるかと思うんですけども、スキップ型については少し配慮が必要なのかなと思います。

(坂井社会教育課教育指導主事)

スキップ型は想定していません。

エンジョイ型も全てというわけにいかないかもしれないので、要は指導者と相談しながら取り組んでいきたいと思います。

(伊藤会長)

他に何かいかがでしょうか。

(雑賀副会長)

今ほどの参加年齢の拡大、私も大賛成です。可能性の 1 つとして、以前もお話したように、やっぱり大人の年代まで含めてやれる種目というんでしょうか、もうカテゴリーもあるのかなと思っておりますので、実際にもうその文化系の方では大人の人たちからも参加してもらってんだってというような話も聞いたりもしていますので、そういったところの垣根もなくなっていくといいのになって思っております。

もう 1 つは、例えば島外の方っていうことであれば、民間と行政で違うかもしれませんが、観光客がその日に合わせてきて、いわゆるそのエンジョイ型のものに参加型みたいな形で組み込んでもらう仕掛けも今後検討してもいいのかなと思っております。新潟の子が、じゃあそれに向けて佐渡行ってみようよみたいな。

(伊藤会長)

ご意見ありがとうございます。

何か他に補足できることや具体的な案があればお知らせください。

(鈴木教育次長)

ありがとうございます。昨年度、まさにボートの方で、せっかくの夏休みですから、親子一緒に佐渡に来た際に、もしよかったら一緒にやりませんかという意味も込めて新潟市さんと提携させていただきました。

なので、今言ったように、毎週の土日というのは難しいかもしれませんが、スポットスポットでそういった夏休みとか観光客の方も一緒にやれるような形っていうのは我々としても考えていきたいという風に思っています。

(伊藤会長)

ありがとうございます。その他、いかがでしょうか。

無いようでしたら、協議内容ということですので、(1) 佐渡市地域クラブ活動推進計画の改正(案) について承認される方は拍手をお願いいたします。

拍手多数ということで承認をされました。

続きまして、議題の(2) になります令和 7 年度佐渡市地域プラン活動実施プラン(案) について、説明をお願いいたします。

(鶴間社会教育課課長補佐)

社会教育課の鶴間と申します。

議題の(2) 令和 7 年度佐渡市地域クラブ活動実施プラン案について、資料 6 を使って説明いたします。

昨年地域クラブ活動がスタートした令和 5 年度以降、この推進協議会でプランを説明する際に使用している資料を更新したものになります。

来年度、今年度と変更となる点について赤字で記載させていただいております。資料の説明ですが、まず上部目的、それから目指す子どもの姿につきましては、推進計画に示されているもので、変更はありません。

これらの目的に基づきまして、まずは休日の学校部活動を地域クラブ活動へ移行する取り組みというものを令和5年度より進めております。

令和5年度につきましては、9月からスタートし、月1回の週末に活動しております。段階的にこれを増やしていくという計画のもと、今年度、令和6年度は月2回の週末に活動しております。

赤字になりますが、令和7年度はこれを月3回の週末に拡充して実施するという計画を計画中です。

先ほどの報告、アンケートの報告の時にも質問ありましたが、種目ごとの実施回数というものではなくて、あくまでこの地域クラブを学校部活動に代わって実施するこの地域クラブの回数が月に何回あるかということで、令和7年度は3回ということになっております。

運営の方法ですが、資料の左端にありますように、佐渡市教育委員会が、国、県の委託、委託と言いましても補助金に近い、ある程度の支援、国、県からの支援をいただいて運営するというものになります。

佐渡市教育委員会の下に皆様方にご協力いただくこの推進協議会というものを置きまして、推進協議会で方針等を決定しながら実施をしていくということになります。

令和7年度の具体的な内容については表のような形で示させていただいております。

まず、活動日です。令和7年度は、月3回、原則第2、第3、第4の土日のどちらかで開催するということになります。回数で言いますと、年間で、令和7年度1年間で31回、地域クラブ活動があるということになります。

先ほども質問等で出てましたが、原則というものについては、例えば中体連の大会ですとか陸上大会など、市内の中学校全体が関係する大会等との調整により開催日をずらしたものもあり、原則第2、第3、第4という表記にさせていただいております。

また、地域クラブの実施週の学校部活動は実施しないということで、これも令和5年度当初からずっと継続しておりますが、この地域クラブがある日に学校が学校の部活動を実施することはないように統一させていただいております。

また、4月につきましては、子どもたちからの募集期間ということになりますので、令和7年度、実際に地域クラブ活動がスタートするのは5月24日、25日の土日からを予定しているところであります。

続いて、年会費になります。先ほどの推進計画の改正案の説明にもありましたが、活動費については、原則、受益者の負担となっております。

一方で、現在は国、県の助成を受けて実施していること、それから地域クラブ活動を設立して間もないこと、そして何より多くの子どもたちに参加してほしいことなどを踏まえまして、あ

る程度の公費負担を行いながら、年度ごとに保護者負担となる年会費を設定していくこととしております。

そのため、今年度の年会費の算出にあたりましては、生徒1人当たりの実際に要する年間経費を算出しまして、その1割程度を保護者に負担してもらおうということで、令和7年度は年会費として5,000円とさせていただきたいと考えております。

なお、これまでは、この年会費のみということで、全部参加しても、活動日全部参加しても、もし1回しか参加しなくても、この年会費というものを全額頂いておりましたが、これまでの実績を見ますと、特にエンジョイ型なんですけど、特定の種目だけ参加する、例えば、冬場に4回ぐらいスキーだけ参加して、その他のクラブ活動には参加しないというような生徒も見られました。

そのような生徒のことも考慮し、エンジョイ型選択者で、一部種目のみ参加したい場合は、1種目500円という会費も新たに設定したいと思っております。

なるべく年会費で払っていただいて、31回ありますので、多くの活動に参加していただきたいというのが本音ではありますが、10回未満の参加希望であれば、年会費ではなく、1回あたり500円の負担をいただくということでも参加可能になるように対応したというものでございます。

なお、推進計画にもありました通り、要保護世帯等につきましては、この年会費、参加費につきましては免除させていただくということで、引き続き負担軽減の配慮はしてまいりたいと考えております。

種目については、上の方がスポーツ、下の方が文化ということで区分をさせていただいております。

スキップ型、1種目を連続して行うスキップ型につきましては、スポーツで6種目、文化で1種目の合計7種目ということで、種目数、種目内容については今年度と変更はありません。ただ、一部において、会場の変更またはこの実施主体、指導者の変更というものがある予定になってまして、その部分は赤字で示させていただいております。

続いて、エンジョイ型につきましては、子供たちへの魅力を高めていきたいということで、新規種目を毎年取り入れております。

来年度につきましても新しい種目を取り入れたいということで、本来なるべく子どもたちのアンケート結果を反映させたいというところではありますが、スケートボードとかeスポーツなど、指導者、それから会場、それから機材等、これらの調整がなかなか難しいというものもありまして、令和7年度につきましては、スポーツでボッチャ、これは障害者にも参加しやすいというか、そういうものになりますし、文化では、これはアンケートで結構要望がありました。料理とかお菓子作り、そういったものを含めてクッキングとして取り入れていきたいという風に考えております。

その他のエンジョイ型の種目につきましては、今年度は実施したものを引き続き取り入れていきたいということで考えております。

令和7年度の実施プランにつきましては以上になります。

(伊藤会長)

今の実施プランに関する意見や質問がありますか。

(伊藤会長)

ちょっと1点確認したいのですが、今お話しにあった「1回あたり500円」とは、参加する際の単回数を指しているのでしょうか？

例えばスキーが4回あった場合、その場合は4×500円になるという理解でよいのかお伺いしたいです。

(鶴間社会教育課課長補佐)

はい、すみません。この点については1回500円となりますので、4回全て参加した場合は、4×500円で2000円かかるということになります。

(伊藤会長)

はい、ありがとうございます。

質問がなければ、令和7年度の実施プランについて賛成される方は挙手をお願いいたします。

○委員全員挙手

(伊藤会長)

続きまして、今後のスケジュールについて説明をお願いいたします。

(濱崎学校教育課課長補佐)

今後のスケジュールについて説明をいたします。

先ほど、推進計画の改正、また令和7年度の活動実施プランが承認されましたので、これに基づいて、指導者や会場の調整を進めます。

3月下旬には令和7年度の佐渡市地域クラブ活動の募集案内を作成し、4月4日に学校に案内を送信します。また、4月8日(入学式)に周知を図ります。

締切は4月30日です。5月中旬には第1回目の地域クラブ活動推進協議会を開催し、その後、令和7年度の活動を5月24・25日から開始します。

以上が今後のスケジュールとなります。

(伊藤会長)

今後のスケジュールについて、何か質問やご意見があればお願いいたします。

(鈴木教育次長)

すいません、1点、参考情報ということで、オレンジ囲みをした資料の方から簡単にご説明さ

せていただきたいなと思っております。

国の方では、先ほど教育長からもありましたけど、いわゆる改革推進期間ということで、来年度までがそういう期間になってるわけですけども、各自治体によって取組の状況はかなり差があるというのが現状でございます。

そうした状況も含めて、令和8年度以降、この推進期間が終わった後、令和8年度以降どうしていくかということが、今、国の方でこの地域スポーツ文化芸術に関する実行会議という会議が今立ち上がって議論の方がされてございます。

佐渡市の取組なんですけども、エンジョイ型で多種多様な種目の方を子供たちが選択して取り組めるといことと、あと、スポーツも文化もどっちも大事にしているというところがすごく高い評価の方いただきまして、この実行会議の中の地域文化芸術活動ワーキンググループというところで佐渡市が自治体の代表として委員となってもらえないかという話いただきまして、今年度から私の方がこの委員に任命いただきまして、今この会議の方に参加させていただいてます。

そうした意味で、今、国の方で今後どうなるのかなというあたりをせっかくですのでご紹介したいなと思っております。

めくっていただいて、文字ばかりで恐縮なんですけども、これが国の会議でございますので、ちょっとこれに基づいて簡単にご説明したいなと思っております。

まず、概要、って書いてあるページでございますが、ここのですね、(3)地域全体で連携して行う取り組みの名称というところがあるんですけども、今我々も地域移行という言葉を使ってるんですけども、単に今ある部活を移行する、そういうことではなくて、地域全体で支えながら、新たな価値を創出しながら豊かで幅広い活動をしていこうということで、今後は地域展開という言葉を使ってはどうかというのが今議論されているところでございます。次のページでございます。今度は概要 というところでございますが、下の方に表がございまして、真ん中のところに次期改革期間というものがございます。

これにつきましては、今現状まだ差があるということで、改めてまた再度期間の方を設定していきますということになってございます。

令和8年度から令和10年度の3年を前期にしますと。

その間、中間評価を行って、令和11年から13年度までの3年を後期という形にしますよと。

前期の3年間では、少なくとも全ての自治体で休日については地域移行、地域展開の方やっていきたいと思いますという形になってございます。

平日につきましては、現段階ではやはりなかなか結論は難しいということで、できるところは進めていながら、この中間評価というところで再度国としての方針を定めたいというような動きになってございます。

その下でございます。費用負担のあり方ということで、先ほども議論ございましたが、受益

者負担と公的負担のバランスのあり方をしっかり考えていきたいと思いますということになっております。

ある自治体によっては、民間の方に移行して、月に例えば4万円とか、そういう負担も出るケースもあるんですけど、あくまでやはり学校部活動でやっていた教育的な意義を承継するものですので、保護者に大きく負担というわけにはいかないのではないかということで、公的負担と受益者の負担のバランスをもう少し考えていこうというような話で進んでいるところでございます。

次のページでございます。4、地方公共団体における推進体制の整備というところがございますが、専門の部署の設置やそういった推進体制の整備が必要ではないかというような話になってございます。

これにつきましては、各自治体の方も、学校教育課でやってるところもあれば社会教育課でやっているところもあると。教育委員会でやってるところもあれば首長部局の方でやってるところもあるということで、どこがこの地域移行、地域展開を担当しているのかっていうことはもうちょっとわかりやすくすべきではないかというような意見でございます。

佐渡市におきましても、ご承知のように、先般議会の方でも議決しまして、来年度からですね、教育委員会にあるスポーツの推進、そして文化の振興に関する部署が首長部局の方に移管されるというような方向になってございます。

ただ、やはり今部活の地域移行につきましては過渡期でもございますので、これは我々としては引き続き教育委員会の方でしっかり旗振りをして、市長部局の方とも連携を取りながらやっていきたいと考えていますので、来年度は専門の部署というか係の方を置いてですね、やっていきたいという風に考えてございます。

その下でございます。学習指導要領における取り扱いというところでございますけれども、まさに年末の12月にですね、学習指導要領の解説の方が早速改訂の方をされました。学校と地域クラブの連携ということが明記をされました。

地域クラブ活動というのは、学校外の活動ではありますが、これまで部活が担っていた教育的な意義を有するものだということでございますので、当然、学校も含めた地域全体でしっかり保障していくものだということが書かれてございます。

そのため、場所の提供、先ほど音楽室という話もございましたが、場所の提供や保護者の方への周知、こういったことも含めて学校と緊密な連携を図ることという形で、はっきり明記がされたところでございます。

また、この学習指導要領本体の方も、今どういう風に改訂していった方が良いのかということとは、今まだ検討の方がされているというところでございます。

簡単でございますが、ちょっと今後の国の状況というのを説明させていただきました。実は明日も、山梨県の方で地域移行のフォーラムがあるということなんですけど、佐渡の取組

をぜひ紹介してくれないかという風に言っていただきましたので、明日行ってきたいという風に思っています。

こういった形で、国もそうですし、他の自治体さんも、佐渡の取組にすごく注目していただいているというのが、現状でございます。

ただ、やはりどこの自治体も、また国も、正解の形ってというのが誰もわからない状況でございますので、今の形をより改善をしていくというのが大事だと思いますので、佐渡にあった形、こういったところをしっかりと少しずつ、今ももちろん課題たくさんありますけれど、そういったことを乗り越えながら、よりよい形になればなという風に思ってます。

また来年度、今年度末にこの国の最終のまとめが出ますので、またそれを受けて佐渡として、もう1段をどうしていくのかっていうので、来年度あたりまた大きな山場になるかもしれませんので、引き続きご協力いただきたいと思っています。

説明については以上です。

(伊藤会長)

他にご意見や質問はございますか。

(伊藤会長)

では、皆様方から何か、せっかくの機会ですので、ご意見をいただきたいと思います。

(金子委員)

安全管理をしっかりと努めて活用していくことが大事なんじゃないかなと思っております。マニュアルのところに作られていて良いなと思っているのですが、今参加していて、例えば事故が起きた時、すぐに連絡が取れるような形に、個人情報もあるわけですがけれども、その辺り、参加した名簿があって、この子が怪我をした時にすぐ保護者に連絡など、そういう形の指導者の方に情報が渡っているのでしょうか。

(高橋社会教育課社会体育係長)

各会場の指導責任者には参加生徒の氏名等の情報や、緊急時の連絡先、保護者の連絡先もお渡ししていますので、何かあった時にはすぐに連絡して対応させていただいております。

(金子委員)

登録していなくても、ぱっと来て参加するお子さんもいると思うのですが、その辺りのところもしっかりしておく必要があるのかなと思います。

(高橋社会教育課社会体育係長)

随時、年間を通じてずっと募集していますので、追加の参加申し込みがあれば、その都度、指

導者の方に追加の報告し、対応しているという状況でございます。

（金子委員）

あつてはならないですが、いじめやトラブルが起きる時に、事故が発生した時の管理監督責任について、誰が責任を負うのか、どこまでの責任を持つのか気になっています。その辺り、保険についても前回質問したことがあり、自分の立場が指導者として、責任を問われることが心配です。どう思われますか。

（高橋社会教育課社会体育係長）

この地域クラブ活動については、運営主体が佐渡市になっていますので、いろんな事故や様々なパターンがあると思いますが、何かあれば市の方に情報をいただき、対応していく形で考えています。今のところ、トラブルはないので、今後何かあれば相談に乗り、対応していくと思っています。

（金子委員）

前回、指導者の賠償責任について質問しましたが、こちらの方スポーツの想定の中に出てくるものについて確認できた方が良いと思います。現在は教育委員会や佐渡市が主体になって行なわれていますが、地域移行の形を取った場合、その条件の保険はどうなるのでしょうか。

（高橋社会教育課社会体育係長）

今は市の方で運営していますが、自分たちの地域でクラブを立ち上げて活動していく形になれば、そのクラブの方でスポーツ安全保険等に加入して実施していただく形になると思います。受け入れ団体の方で。

（金子委員）

受入れ団体の方で、責任を持って加入ということでしょうか。

（高橋社会教育課社会体育係長）

はい、そのとおりです。

（雑賀副会長）

すみません。今の関連でよろしいでしょうか。今日は佐渡市の地域クラブの運営に関する議題ですが、民間の方で立ち上げたクラブ活動は、今後、学校の平日の部活動などの地域展開へ移行する形を考えています。例えば、このプランの16ページに年次計画としてあるのですが、この表の中頃に（5）指導者資格という項目があります。計画的に取り組みられているのかと思いますが、研修を受けてそれで終わりなのか、年に1回ないし2回の評価やチェックが入るのか、ということについても聞かせていただけると幸いです。

私のところに相談をいただいている方が、民間で立ち上げて指導されている方から「子供たちの扱いは難しい」と語られることが多く、また保護者との対応も大変だと聞いています。指導をしようと熱意を持っている方々がつまずいたり手を引いてしまったりすることが今後起きる可能性があると思いますので、その点を視野に入れ進めていくのが重要だと思っています。スポーツ協会などからも何かサポートがあれば助かります。

（伊藤会長）

スポーツ協会での指導者育成については、市との関連性がありますが、実は佐渡市のスポーツや指導者育成等にも携わっている方々のことも意識していかなければならないと考えています。

その資格を有する方々の育成、オンラインの開催なりまだまだ指導者研修会等で、意識していくんですけども、その方々のケアが必要ではないかと思います。

（雑賀副会長）

広がりに対応した検討っていうのも必要になっていくのかなという風を感じているところであります。

今は市が主催のもの内容になっていくんですけど、それにしても、ここに関わっている指導者の方々のいわゆる資質、資格の更新みたいなことっていうのを考えられるのかどうか。もし今こういうプランなどがあれば教えていただければと思います。

（金子委員）

指導者マスターとして設ける考えがあります。先日、ジュニアスポーツの指導者講習会もありましたので、その兼ね合いも考慮しながら進めたいと思っています。

（高橋社会教育課社会体育係長）

指導者に向けた研修会については、年1回コロナへの向き合い方や指導の考え方、心的な研修を行っています。また、技術的な研修もっており、例えば野球やバドミントンの研修を実施しています。さらに、3年間継続して参加していただく方には指導者のマスター制度を導入したいと考えています。

（雑賀副会長）

ありがとうございました。

（金子委員）

改めてプランを作成した意義をしっかりと記録として残すべきだと思います。最終ページに、作成日や改訂日を記載することが重要だと感じます。また、今日いただいた資料にページ番号を入れていただくと、見やすくなり説明も聞きやすくなるかと思いますので、その感想をお伝

えしました。

以上です。 今後とも事業をよろしくお願いしたいと思います。

(宇治委員)

意見として、実施プランが承認され、令和7年度は月3回となり、指導者も負担が増えるかと思いますが、特に文化関連では、地域クラブの指導者と公民館の社会教育事業に携わる方々と連動できればと考えています。また、年齢層との交流も増えると思いますし、職員の負担が軽減される面もあると思います。地域クラブと公民館の教育事業が連携できれば、柔軟な調整をお願いできればと思います。

(鈴木教育次長)

ありがとうございます。できるものはどんどん連携していきたいと思いますが、一方で公民館事業とこちらの事業の予算が分かれていることを考えつつ、連携できることを進めていきたいと思います。

(伊藤会長)

スポーツの方では、トレッキング協会が対応する形で教室を設けています。他の部分での調整がつけば、指導者の限りがある中で実行可能な範囲で進める必要があると思っています。他に何かありますでしょうか。

(岩崎委員)

1つお尋ねしたいことがあるのですが、令和6年度の地域クラブ、佐渡市地域クラブへの参加率が33%とのことですが、これは他の市町村と比べて多いのか少ないのか、当初の予想はどのくらいだったのか教えていただけますか。

(鈴木教育次長)

他の市町村との比較ですが、やってる取組自体がもう様々で違いますので、比較はできないと思います。

我々としては、決して強制するものではないですし、土日休みたい人はもちろん休むという選択肢もあってはいいんですけど、せっかくですので出てきてですね、佐渡ならではの活動してほしいという願いを込めてやっています。

昨年度の実績から見て、この3割というのはおおむね上がってきてますので、まあまあいいだろうとは思ってますけれど、これは伸ばしていきたいと思いますが、じゃあ、それを100にするのかというと、そういうわけでもありませんので、これに参加する人数を増やすことを目標に頑張っていきたいと思ってます。

(伊藤会長)

よろしいでしょうか。その他無いようですので、これで終了したいと思います。
活発なご意見があり、改めて皆様に感謝申し上げます。
この後も引き続き、それぞれの活動にご注力いただけたらと思っています。

(渡邊学校教育課長)

はい。それでは、会長どうもありがとうございました。

委員の皆様からご意見いただきましたことも基に、また来年度進めていきたいと思っています。
最後に閉会の挨拶ということで、副委員長、雑賀副会長からお願いします。

(雑賀副会長)

会長様、本当にありがとうございました。

今日、鈴木教育次長からも、佐渡の今の取り組みが全国からも非常に注目をされているということで、しかし答えのないもので、非常にこう手探り状態の中でも、事務局の方々を中心にここまで形が具体的になってきてるっていうのは、大変学校現場に携わるものとしてもありがたいなという風に思っております。

やはり佐渡も消滅都市の色が濃く塗られているところではあるんですが、やはり特色のあるやっぱり取り組みが、そこに住む、あるいは佐渡に憧れを持つ人たちの幸福度を上げていってくれることを本当に願うばかりです。

ウェルビーイングという言葉がありますけども、やってる方々が幸福感を得られながら、参加してる人たちも幸福感を得られるような、そんな取り組みとして佐渡に根付いていってくれることを願っております。

本当にここまで作ってこられました事務局の方々に感謝申し上げますし、また来年が1つの区切りの年ということになると思いますが、今日お集まりいただいた委員の皆様方のご意見もこう反映していただきながら、ぜひいいものにしていただければという風に思っております。

今日は本当にありがとうございました。改めて、会長および委員の皆様、協議会にご参加いただきありがとうございました。

今日、いろいろお話しできて非常に意義のある会議であったと思います。

今回は国から佐渡市の取り組みへの注目も集まっており、今後も地域の活性につながる活動を進めていけたらと思っています。 本日は本当にありがとうございました。

(渡邊学校教育課長)

以上をもって、佐渡市地域クラブ活動推進協議会を終了いたします。

どうもありがとうございました。